

千葉県立博物館の事業に係る自己評価票(令和3年度事業)

達成度(数値達成度のめやす)		自己評価	総合評価
達成	目標値≥100%	4	A
ほぼ達成	目標値≥80%	3	B
やや不十分	目標値≥50%	2	C
不十分	目標値<50%	1	D

満足度欄の達成度		自己評価
達成	達成値≥75%	4
ほぼ達成	達成値≥65%	3
やや不十分	達成値≥50%	2
不十分	達成値<50%	1

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値 下段:目標値	値の説明	数値				
I	収蔵資料の整理・保存 有効活用・調査研究	収蔵資料	1	博物館資料の受入等	3年度実績	1,728点	4	A	年度内新規資料登録点数 目標値は自然史系研究員の数 ×100 情報システム月次報告の年間 データ公開件数(標本登録目標 値を目標値とした) 資料収集に出かけた回数(当該 年度分の聞き取り調査結果によ る)
					館設定の目標	500点			
			2	資料の情報化・公開実績	3年度実績	4,199点	4		
					館設定の目標	500点			
			3	資料収集の回数	3年度実績	71回	4		
					館設定の目標	25回			
		調査研究	4	館外貸出(外部機関等展示等)	3年度実績	6件	4	A	年報4(1)展示利用と研究利用 年報4(1)館内利用 年報用の「4利用」で報告した数 値のうち、著作物の件数
					要望のあった件数	6件			
			5	館内利用(学術調査等)	3年度実績	2件	4		
					要望のあった件数	2件			
			6	著作物資料への利用(出版物掲載等)	3年度実績	6件	4		
					要望のあった件数	6件			
7	調査事業件数	件数	3年度実績	11件	4	A	総合研究+専門研究 年報の共同研究員の数+共著論 文の数(館内除く) 年報用の「学術論文・学術書」+ 「学術報告書」		
			館の計画	11件					
			3年度実績	12件				4	
共同調査事業件数	件数	館設定の目標	8件						
9	研究成果の公開状 況	論文研究報告	3年度実績	11件	4				
			館の計画	8件					
大項目 I の総合評価(A~D)							A		
博物館コメント	<ul style="list-style-type: none"> ●(項目1):受動的な受入だけでなく、館の資料収集活動で採集したものも含んでいる。 ●(項目2):分野によりまとまった数の情報デジタル化と公開が進んだ。 ●(項目3):新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため資料収集回数は激減したが、未整理標本を登録したため目標値を上回った。 ●(項目4-6):博物館資料は、有効活用の件数を想定して収集・保管されるものではないため、目標を要望のあった件数とし、申し出があった案件にすべて対応した。 ●(項目7-9):研究成果は学術論文等で公開している。 								

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考			
			上段:達成値 下段:目標値		値の説明	数値						
II	入館者数と来館者の満足度	来館状況	1	博物館	入館者数	3年度実績	48,474人	3	B	目標は平成23年度数値を参考にした数値		
						館設定3年度の目標	52,000人					
			2	企画展(マリンサイエンスギャラリー) 「千葉県エビカニ大集合」	入館者数	3年度実績	5,644人	2			目標は平成26年度～平成30年度数値を参考にした数値(平成31年及び令和2年度は臨時休館が含まれるため除外)	
						館設定3年度の目標	8,150人					
			3	企画展(収蔵資料展) 「イカ展」	入館者数	3年度実績	17,030人	3				目標は平成28年度～令和2年度数値を参考にした数値
						館設定3年度の目標	17,500人					
		4	常設展示	更新回数	3年度実績	51回	4	理想郷WB(18)、磯WB(12)、こんなの見たよ(5)、ユニット季節(4)、ユニット他(1)、トビック(11)				
					館設定3年度の目標	50回						
		5	企画展 マリンサイエンスギャラリー、収蔵資料展	実施回数	3年度実績	2回	4					
					館設定3年度の目標	2回						
		総合的な満足度	6	博物館	アンケート満足度「とても良かった」+「良かった」の割合	3年度実績	96%		4	A	アンケート回答数24(前年度0)	
						7	(マリンサイエンスギャラリー「千葉県エビカニ大集合」)					3年度実績
8	企画展(収蔵資料展「イカ展」)					3年度実績	97%	4				アンケート回答数38(前年度36)
大項目IIの総合評価(A～D)								A				
博物館コメント		<p>●(項目1-3):新型コロナウイルスまん延防止等重点措置が各地で断続的に発令されたことなどにより、入場者数はコロナ禍前の水準には達しなかった。</p> <p>●(項目8-9):満足度を調査するためのアンケートは、新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、昨年度から通常の紙媒体でのアンケートは行わず、QRコードを利用してデジタルで回答してもらう方式を導入した。その結果紙ベースのアンケートよりも回答数は激減したが、前年度からは回答数が増加した。アンケート結果からは高い満足度が伺えた。常設展示への回答では「すぐ説明も分かりやすくて楽しくていい思い出になりました」、「楽しかった、また来たい」といった回答のほか、トビック展示(ミステリーサークル)に興味を湧いた等のコメントがあった。エビ・カニ大集合への回答では、「楽しかった」等の回答のほか、「標本と実際に生きてる姿(写真や映像)が両方展示してあってとても分かりやすかったです。」等のコメントがあった。イカ展への回答では、「とても素敵な展示だったのでSNSでも色々紹介していただけたと嬉しいです。」や「博物館の展示はなるべく動画を使っていただくとわかりやすいと思います。QRコードを使うと説明や動画が出てくると展示以上の情報発信ができそうです。」等、参考になる意見もいただき、今後の活動に活かせるものだった。デジタルでのアンケートでは紙ベースのアンケートに比べていたずらのような回答が減少している一方、子供からの回答も減少し、小さな子供の率直の感想が聞けていない可能性があり、紙ベースのアンケートも併用できるとよい。</p>										
III	財源の確保	入場料	1	入場料収入	達成率	3年度実績	145.4%	4	A	達成率=実績額÷収入見込額(予算書)		
						前年度実績	83.5%					
		外部資金	2	外部資金の獲得	件数	3年度実績	5件	4				
						館設定の目標	2件					
大項目IIIの総合評価(A～D)								A				
博物館コメント		<p>●(項目1):入場料収入は新型コロナウイルス感染症の影響によりコロナ禍前から比較すると引き続き実績が伸びなかった。</p> <p>●(項目2):外部資金の獲得件数は科研費を5件(延長含む)獲得し目標値を上回った。</p>										

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考	
			上段:達成値 下段:目標値		値の説明	数値				
IV	広報活動の積極的な展開	広報情報発信	1	HP等の情報発信	アップ数	3年度実績	59回	2	B	R3ウェブ更新履歴ファイルから 情報システムアクセス数集計ファイルから 年報の「記者発表」「行事情報の発信」「メディア掲載」の合計
					前年度実績	78回				
			2	HPでの利用状況	アクセス数	3年度実績	59,502件	4		
					前年度実績	48,109件				
			3	報道機関への情報発信	取材件数	3年度実績	134件	4		
					前年度実績	104件				
大項目IVの総合評価(A~D)								B		
博物館コメント	●(全項目):行事を大幅に制限して実施したため、HPIによる情報発信は減少した。しかし、HPアクセス数や報道機関への情報発信は増加した。これは研究成果の公表事例が多かったためと考えられる。									
V	学校及び地域(関係団体)との連携・協働	学校との連携	1	学校数	学校数	3年度実績	2校	1	D	千葉県立長生特別支援学校小学部・中学部
					学校利用受入	要望があった数	6校			
			2	入館者数	入館者数	3年度実績	21人	1		
					要望があった数	477人				
			3	生徒・児童	入館者数	3年度実績	11人	1		
		要望があった数			454人					
		4	博学連携(幼小中高への出前講座等)	学校数	3年度実績	1校	1			
				要望があった数	5校					
		5	利用者数	利用者数	3年度実績	19人	1			
				要望があった数	201人					
地域関係団体との連携	6	団体数	団体数	3年度実績	3団体	1	C	千葉県青年会議所オンライン講義、県生涯学習課夢チャレンジ体験スクール、県総合教育センター教員研修		
			要望があった数	9団体						
	7	利用回数	利用回数	3年度実績	3回	1				
			要望があった数	9回						
	8	利用者数	利用者数	3年度実績	110人	1				
要望があった数			305人							
9	友の会活動	利用人数	3年度実績				要望があった人数は希望団体の募集人数等の合計 該当なし			
10	ボランティア活動	活動延人数	3年度実績	71人	4	R3ボランティア活動日誌集計による。				
		前年度実績	10人							
大項目Vの総合評価(A~D)								C		
博物館コメント	●(項目1-8):「県立博物館・美術館再開のための指針」における段階設定に基づく新型コロナウイルス感染拡大防止対策に基づき、学校・団体等との連携活動は7月まで全て中止となり、8月から大幅な制限を設けて再開した。しかし、新型コロナウイルス感染症は収束を見なかったため、8月以降も連携団体の方針により多くは中止となった。実施したものはオンラインでの講義、感染対策を施して実施した県事業及び感染が下火となっていた11月頃に実施されたものである。オンライン講義では、相手方の反応をその場で把握することが困難であり、終了後に、依頼者に受講者の反応等を確認したが、概ね好評であったようだ。 ●(項目10):ボランティア活動は制限を設けて再開し、前年度の7倍増となった。作業時に密にならないように作業部屋の人数制限等を実施したが、概ね問題はなかった。									

分類	大項目	中項目	小項目				達成状況	総合評価	備考			
			上段:達成値	下段:目標値	値の説明	数値						
VI	教育・普及活動	来館状況	1	観察会	参加者数	3年度実績	69人	1	C	計画せず		
						募集員数	140人					
			2	講座	参加者数	3年度実績	29人	2				
						募集員数	48人					
			3	フィールドトリップ	参加者数	3年度実績	/	/				
						募集員数	/					
		4	バックヤードツアー	参加者数	3年度実績	/	/					
					募集員数	/						
		5	みんなで工作 海の生きもの	参加者数	3年度実績	/	/					
					募集員数	/						
		6	海の体験コーナー	参加者数	3年度実績	/	/					
					募集員数	/						
総合的な満足度	観察会	満足度「とても満足した」+「満足した」の割合	3年度実績	100%	4	A						
			3年度実績	100%	4							
			3年度実績	/	/							
			3年度実績	/	/							
			3年度実績	/	/							
利用状況	相談件数 (来館、メール、電話等)	利用件数	3年度実績	82件	4	A						
			要望数	82件								
大項目VIの総合評価(A~D)							B					
博物館コメント	●(全項目):教育・普及活動は、「県立博物館・美術館再開のための指針」における段階設定に基づく新型コロナウイルス感染拡大防止対策を考慮し、例年と比べて大幅に制限したプログラムで実施した。混雑を避けるために平日に計画するなどした結果、参加者数は伸び悩んだ。一方、行事の内容やレベル、新たな知識が得られたことなどで、参加者の満足度は高かった。一般からの相談については、全て対応した。											
VII	人材育成と安全管理	実習研修	1	博物館実習	3年度実績	/	/	A	該当なし			
					館設定R3年度の目標	/						
			2	教員等の研修	3年度実績	18人	4					
					館設定R3年度の目標	16人						
		3	職場体験	3年度実績	6人	4						
				要望数	6人							
		4	インターンシップ	3年度実績	/	/						
				館設定R3年度の目標	/							
		安全管理	5	研修会の開催	実施回数	3年度実績	1回			4	A	防火設備研修
					館の計画	1回						
			6	防災訓練実施等	実施回数	3年度実績	3回			4		
					館の計画	3回						
大項目VIIの総合評価(A~D)							A					
博物館コメント	●(項目1-4):実習研修のうち、インターンシップは、新型コロナウイルス感染症対策のため募集中止となった。											

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考						
			上段:達成値 下段:目標値	値の説明	数値									
Ⅷ	観光資源としての活用	観光連携	1	県外来館団体入込	3年度実績	2団体	4	A	2年度、3年度ともコロナ禍という状況であり団体入込は非常に厳しい。					
					前年度実績	0団体								
			2	外国人来館入込	3年度実績	113人	4		2年度、3年度ともコロナ禍という状況であり団体入込は非常に厳しい。					
					前年度実績	0人								
			3	外国人来館入込	3年度実績	0団体	4		2年度、3年度ともコロナ禍という状況であり団体入込は非常に厳しい。					
					前年度実績	0団体								
			4	外国人来館入込	3年度実績	230人	4		2年度、3年度ともコロナ禍という状況であり団体入込は非常に厳しい。					
					前年度実績	217人								
			大項目Ⅷの総合評価(A~D)							A				
			博物館コメント		●(項目1-2):新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、不要不急の外出を自粛するお願いがなされているため団体は引き続き少ない。 ●(項目3-4):新型コロナウイルス感染症拡大防止の影響により海外からの団体旅行者はなかった。									
			Ⅸ	ICTの活用	ICTの活用	1	デジタルミュージアム等のコンテンツの作成・整備		制作数	3年度実績	0件	1	B	新規の制作なし
									館設定R3年度の目標	1件				
2	デジタルミュージアム等のコンテンツの利用状況	視聴数				3年度実績	59,502件	4	サイト内項目別のアクセス数のカウントデータがないため、全体のアクセス数を記入した。					
		前年度実績				48,109件								
3	インターネットを活用したオンラインでの講座等の開催	開催回数				3年度実績	3件	4	学校等とのオンラインによる連携講座等の件数。ただし、年度当初の計画には入っていない。					
		館設定R3年度の目標				0件								
4	デジタル・デバインド解消のための対策	実施回数				3年度実績	2件	4	普及行事の申込方法、行事アンケート回答方法の多様化					
		館設定R3年度の目標				2件								
大項目Ⅸの総合評価(A~D)							B							
博物館コメント		●(項目1-2):臨時休館等による企画展示の開催日数の減少はなかったため、デジタルミュージアムの新規コンテンツは制作しなかった。 ●(項目3):学校や団体からの要望に応じた講座を、新型コロナウイルス感染症対策で、対面では実施できなかったため、オンラインで実施した。												
Ⅹ	その他	コロナウイルス感染症対策				1	館内消毒の実施等感染対策実施	3年度実績	7項目実施	4	A	実施項目:①展示室・展示物定期消毒3回以上/日、②来館者手指消毒(通用口含む)、③来館者検温(通用口含む)、④展示室対応職員の感染予防(マスク・フェイスシールド着用、消毒)、⑤来館者の入館確認票記入、⑥適切な同時入場者数制限の実施、⑦館内の適切な換気		
								館設定3年度の目標	7項目実施					
大項目Ⅹの総合評価(A~D)							A							
博物館コメント		●(項目1):新型コロナウイルス感染拡大防止対策としての館内消毒等は全て適切に行い、感染者の発生はなかった。												

分類	大項目	中項目	小項目			達成状況	総合評価	備考
			上段:達成値 下段:目標値	値の説明	数値			
総合評価(A～D) [各達成度の平均]						A		
総合評価と次年度への対策		<ul style="list-style-type: none"> ●博物館活動の基盤となる資料の収集・整理・保管・活用や調査研究は総じて目標値をクリアしており、コロナ禍においても前年度に引き続き高い水準を維持している。 ●展示活動では、コロナ禍による様々な制限がかけられているにもかかわらず、入館者の満足度は高い水準を維持している。ただし、アンケートはQRコードによるデジタル回答のみにしたため、回答数が激減している。展示室入口では検温や消毒、入場制限などを実施するため人員が割かれ、前年度と同様に職員の負担が増えた。 ●教育普及活動では海の生きものを対象とした多彩な活動を用意していたが、学校や各種団体からの要望を受けて実施する出前授業や実習、フィールド観察などは、規制緩和が8月だったため多くが中止となった。一般向けには、感染症対策を取り入れ、例年とは異なる形で講座や観覧会などを実施した。 ●今年度は感染症対策のための臨時休館がなかったことなどにより入館者数は前年度より増加しているが、コロナ禍以前の水準には達していない。 ●次年度も感染拡大防止対策が必要となる前提で、教育普及活動の新たなプログラムづくりや企画展示の立案を行うとともに、制限が緩和・解除された場合も想定してR4年度の活動につなげている。 						